

府中校 たまねじトピックス



トピックス1 今年も夏休み工作教室を実施しました！



府中校では、子供たちに「ものづくり」の楽しさを伝えるために、毎年小学生を対象に、夏休み工作教室を実施しています。今年も7月22日に実施しました。

チラシやHP等で募集したところ、45名の方の希望があり、実施定員をオーバーしてましたが、応募してくださった方全員に参加してもらいました。

会場は、和やかなムードの中約1時間半で工作を終えることができました。完成したシャボン玉マシーンを実際にうごかしてみると、多くのシャボン玉が一斉にとびたち、みるみるまにシャボン玉液をシャボン玉にかえて、子供たちや保護者の笑顔があふれました。



帰ってから、シャボン玉マシーンを動かす時は、公園など屋外の安全な場所でやりましょうね。



シャボン玉がたくさん出てくる！

トピックス2 高校生向け実習講座

都立職業能力開発センターではものづくりの普及啓発の一環として、「高校生向け実習講座」を実施しています。

府中校では、8月15日に電気設備技術科が担当して『自宅の電気の仕組みを知ろう!!スイッチの配線をしてみよう』と題し、実習講座を行いました。今回は非常に暑中、電気工事に興味のある高校生5名と都立高校建築科の先生1名が参加しました。この講座では電気工事を広く知ってもらうため、電気工事の仕事内容について学んだり、仕事の一部を体験してもらいます。

～午前～

【電気設備についての説明】：電気工事士の仕事内容を知ってもらうため、木造家屋の配線の例や主な業務の分類、電気工事の流れを座学で学びました。

【実習室内の見学】：当科の実習で製作した課題などを見てもらい、仕事内容のイメージをつかんでもらいました。

【太陽光発電のデモ】：太陽光発電パネル屋外にならば、接続し、その電力で電動ドリルを動かすことにより、発電を肌で感じてもらいました。

～午後～

【実習前の説明】：電気工事の作業イメージをつかんでもらうため、実際の工事現場の写真を見てもらいました。

【電線加工の練習1】：課題作成の前段階として、電線の基本的な加工を練習してもらいました。

【課題作成】：スイッチで電球の明かりを入切できる回路を作成してもらいました。

【電線加工の練習2】：輪づくりと呼ばれる少々コツのいる加工を練習してもらいました。

みなさん熱心に見て、聴いて、取り組み、課題が完成した時には達成感にあふれた表情をしていました。



トピックス3 ファミリーデーを実施しました！

府中校では職員の家族の職場訪問(ファミリーデー)を7月24日午前に実施しました。職場全体でワークライフ・バランス(仕事と生活の調和)の認識を高めるために、施設見学、実習体験、記念撮影などをしました。5家族で子供8名、大人2名が参加しました。職員もかわいい子供たちを見てなごやかな時間を過ごすことができました。

右上の写真は、校内見学で、介護サービス科の介護実習用人形「こはる おばあちゃん」に触ってみて「キャー、やわらかい」「こわい」とか、生徒さんお騒がせしました。

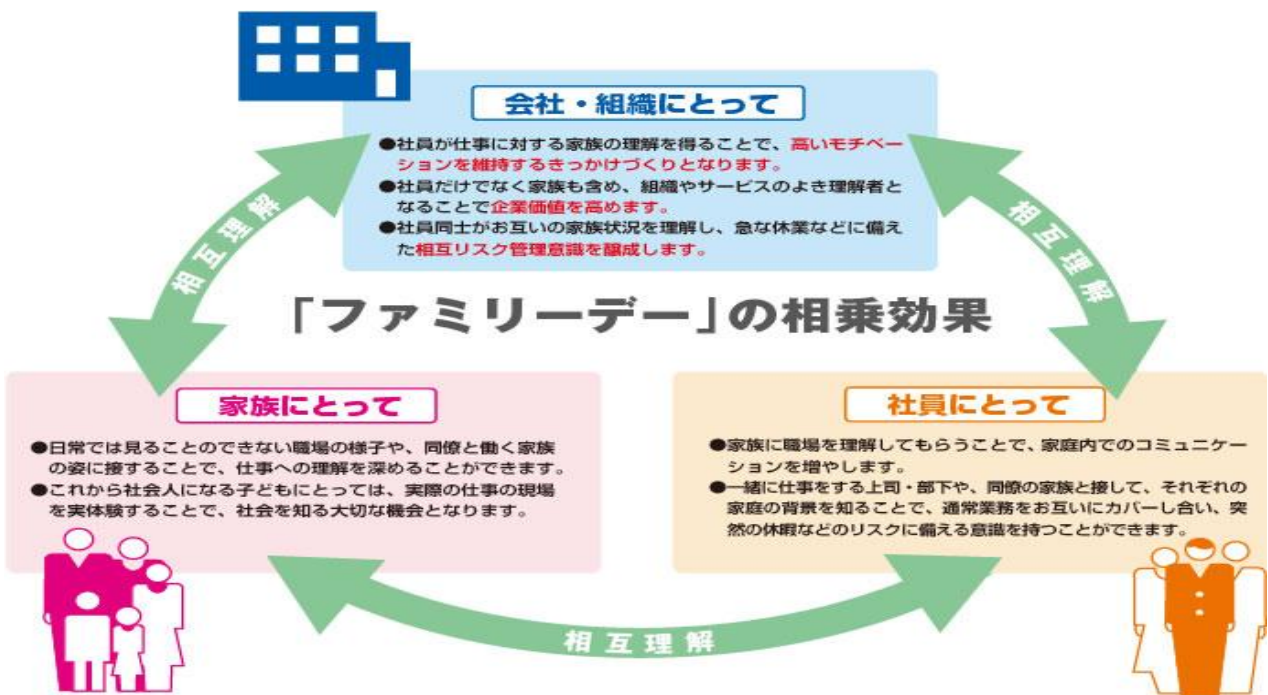


ファミリーデーとは

会社の取組として、従業員の家族の職場訪問を受け入れ、日々従業員を支えてくれる家族に職場に対する理解を深めてもらうとともに、同僚との交流を図り、それぞれの従業員にも大事な家庭があるということを社内全体で再認識することで、「働きやすい・家族を大切にす職場の雰囲気づくり」を行い、ワークライフバランスの推進を図る取組を行う日を指します。

東京都では、都内の多くの会社にも実施いただくため、平成22年から自ら率先してファミリーデーを実施しています。

詳細について <http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/equal/tsd/familyday/index.html>



皆さんは楽しい夏休みを過ごしましたでしょうか？

今回は、府中校が夏休み期間に実施しているイベントの特集を掲載させていただきました。

いろいろな立場の人が、働くことについて考える良い機会になったのではないかと思います。

(庶務係・能力開発係・電気設備技術科)

